

平成 13 年 9 月 7 日
第四管区海上保安本部水路部

海 洋 概 報 (平成 13 年第 8 号)

(伊勢湾流況調査)

1 調査概要

調査期間	流況調査 : 平成 13 年 8 月 6 日	
	流況調査 : 平成 13 年 8 月 10 日	
調査海域	伊勢湾	
	別図「流況調査 測点」参照	
調査船	測量船「いせしお」	
現地調査員	水路部水路課専門官	當重 弘
	“ “ 海象係長	木村 琢磨
	“ “ 海象係員	福良 博子
	測量船「いせしお」船 長	山本 常夫
	“ 機 関 長	石原 信雄
	“ 主任機関士	吉岡 直行
	“ 航海士補	渡部 千尋
	京都大学大学院生	山尾 理
	“ 大学院生	赤嶺 里美
調査項目	流況調査 : 水温・塩分	
資料整理	海象係長 木村 琢磨、海象係員 福良 博子	

2 観測経過

8月6日は、海上模様があまり良くなかったが、St.3 の横断測線の観測を実施できた。また、8月10日は、時々雨の降る天候ではあったが、全測点の観測を実施することができた。

なお、8月21日に予定していた調査は、台風11号の接近に伴い中止とした。

3 海況（成果は別図参照）

流況調査（伊勢湾）

8月6日

水温：底層付近は平年に比べ1程度低かった。

その他の地点は、ほぼ平年並みであった。

塩分：表層付近に河川水流入による低塩分水が見られなかった。

中層は平年に比べ1程度高かった。

その他の地点は、ほぼ平年並みであった。

8月10日

水温：St.1の表層及びSt.1~4の底層は、平年に比べ1程度低かった。

St.1~4の上層及びSt.5~6の表層は、平年に比べ1程度高かった。

その他の地点は、ほぼ平年並みであった。

塩分：St.1付近表層に河川水流入による低塩分水が見られたが、平年のようにSt.2~5付近までの影響は見られなかった。

上層・中層は、1~7高かった。

底層はほぼ平年並みであった。

* 使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。